

第46回「電子機器及び電子デバイス 関連の動向」講演会

- 主 催：半導体市場調査専門委員会
- 担当部署：電子デバイス部（半導体G）
- 参加者数：約50名

概 要

当協会の半導体部会／半導体市場調査専門委員会（大場秋彦委員長・ルネサス エレクトロニクス(株)）では、委員会活動の一環として、毎年2回、適宜タイムリーなテーマを取り上げて情報提供を行っております。この度8月27日、経団連会館にて2010年度「第46回電子機器及び電子デバイス関連の動向」講演会を開催いたしました。

今回は、LED照明について、LED照明用電源の現状、及び今後の課題、方向性についてのご説明。今後のLED照明器具のさらなる小型化、高効率化、高機能化、高信頼化、そして低コスト化のため、LED照明用電源についても、同様の要求を満たしていく必要があること。さらに今後、LED照明用電源を構成する電子部品などの部材メーカーでも同様の方向性での取り組みに期待するなどのご講演をいただきました。

また、「環境」に視点を置いた世界各国の電子機器市場と半導体産業に関する動向のご講演では、世界の電子機器市場は好調である。7月にノート型パソコンはブレイクとなった。スマートフォンのインパクトについて、世界は半導体より環境へ投資が向いている。海外の有力企業も環境に注目した動き、環境は多種多様な産業

に関係しており問題が山積みであり、すなわちチャンスはいたるところにあること。インフラは信頼性重視＝日本メーカーにチャンスがある、半導体メーカーにとってのビジネスチャンスは？顧客はどこか？などのご講演をいただきました。

さらに、「スマートフォン」の最新動向について、国内市場、国際市場と端末市場の動向、スマートフォンは、現在はハイエンド機主体、今後ローエンドとの二極化が進むなど。ローエンドで中国メーカーが躍進する可能性。エマージングデバイスとしてiPadの成功で注目度が上昇。タブレット端末、電子ブックなどが成長株となる可能性が高いこと。国内以上にグローバルでのポテンシャルが高いことなど、最新の調査による示唆に富む話題を頂き、参加者の熱心な聴講を頂きました。

半導体市場調査専門委員会では、今後も半導体産業の更なる発展に向けて、有益な講演会を定期的を開催して参ります。参加者から頂きましたアンケートご回答、貴重なご意見をもとに、関係専門分野における、皆様に参考となる最新の話題を提供して参りたいと考えております。

プログラム

○「LED照明用電源の技術動向」

大西雅人 氏 (パナソニック電工(株))

○「世界の電子機器と新市場「環境」から半導体産業へのインパクト」

菊池珠夫 氏 (日経BPクリーンテック研究所)

○「国内・グローバルの携帯電話市場における「スマートフォン」の動向について」

賀川 勝 氏 ((株)矢野経済研究所)

